

いま荒川の水は飲み水にもなっているんだ

荒川の水を生活用水として

私たちは、水道のじゃ口をひねれば、かんたんに水を手にすることができます。この水道の水は、ほとんどが川から引かれた水です。

水道がつくられた最初のころは、地下水をくみ上げて使っていました。しかし、人口や工場が増えたため、地下水だけでは足りなくなり、川の水を使うようになりました。

東京や埼玉県の人口が増えるのにあわせて、荒川の水を有効に利用するため、上流部に水を貯めるダムがつけられてきました。

また、利根川の水を荒川へ運ぶ水路（「武蔵水路」）などもつけられてきました。

下流の荒川第一調節池にある貯水池「彩湖」も用水確保のはたらきをしています。



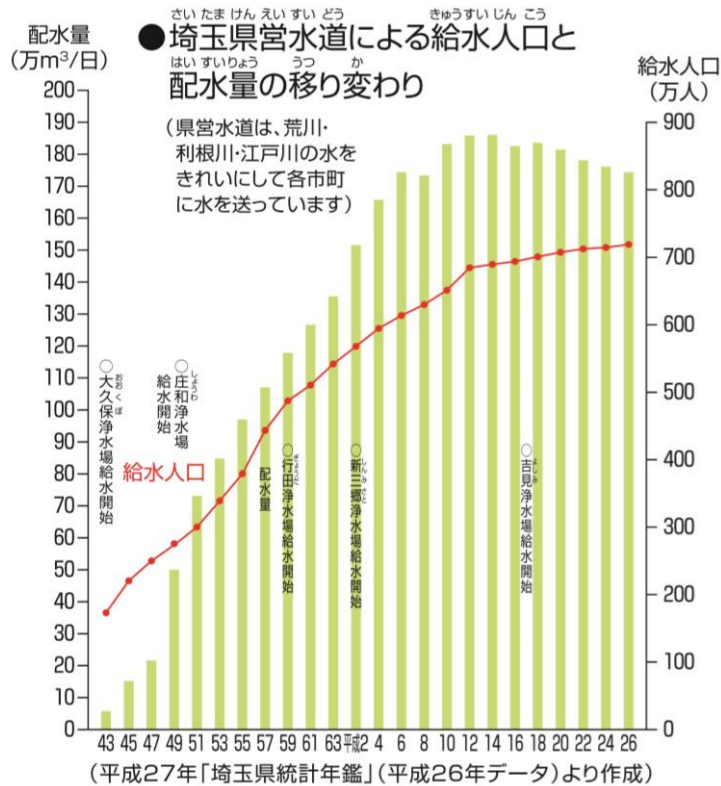
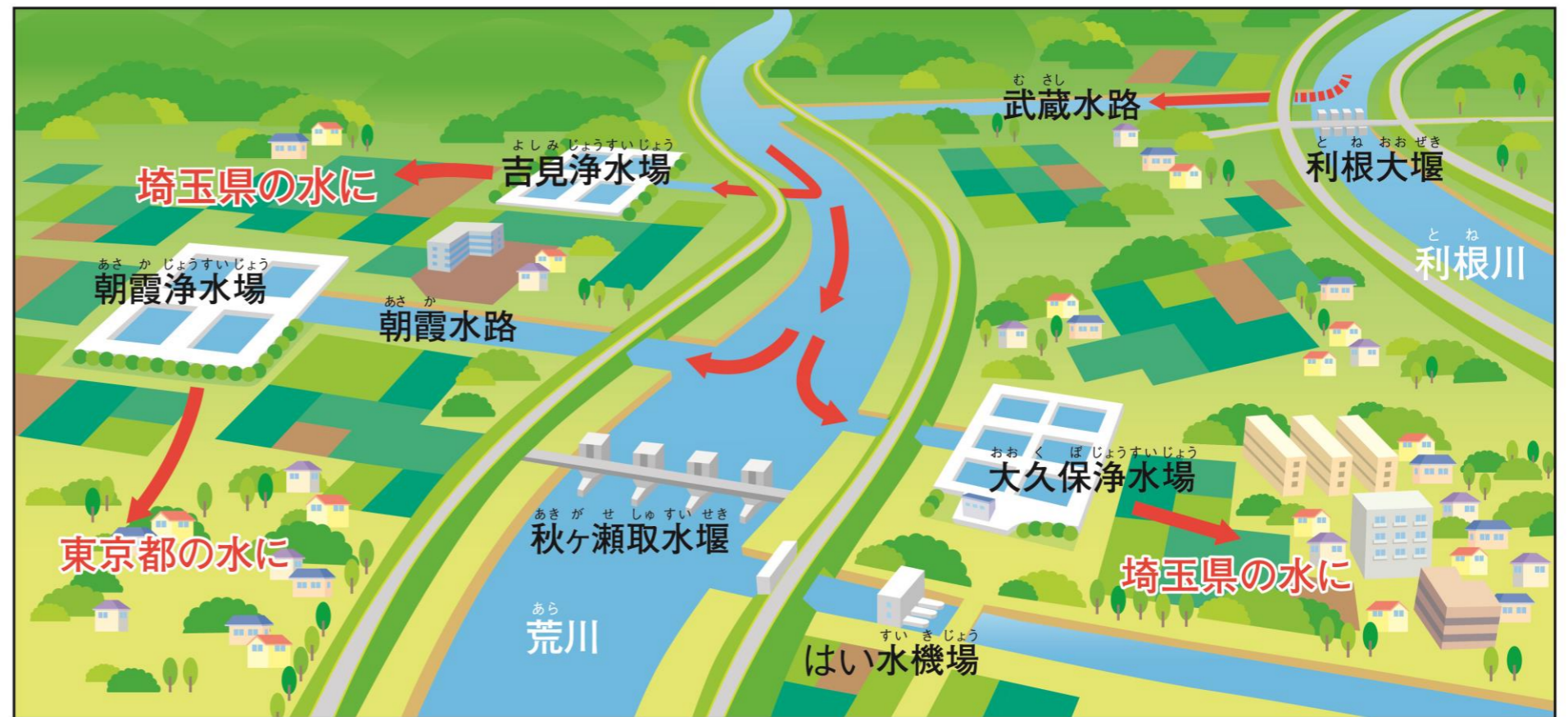
吉見浄水場



大久保浄水場



武蔵水路



秋ヶ瀬取水堰

川の豆知識

さまざまに活やくする川の水

川の水が使われるのは、私たちの生活や農業だけではなく、生活に必要なものを作る工場や発電などでも、川の水は使われています。

みなさんも、どんなところで水が使われているのか調べてみましょう。



飯能市にある有間ダム。このダムは洪水を調節するほか、田畑のかんがい用水や都市用水を確保しています。